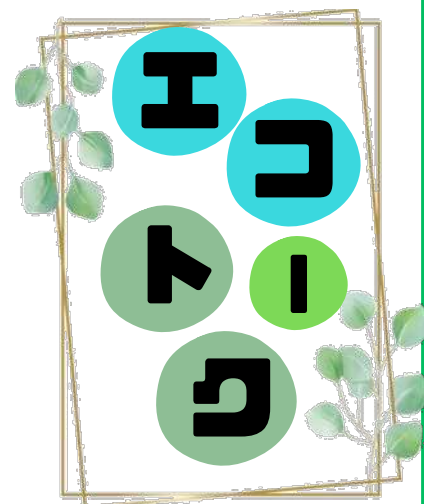


宇美町



(2023年広報7月号)



町にお住いの皆さん如何お過ごしですか？今年の最高気温は何度まで上がるのだろうかと心配になりますね。世界気象機関からは今年から5年の間に98%の確率で、過去最高気温を1回は記録するだろうと発表されています。

今号も気候に重大な影響を与える「海」のお話です。海水は周辺国を回っているだけでなく、表層部・深海部でも循環しています。

太平洋や大西洋といった大洋では海水が北に行ったり、冬季に冷やされたりすることで表層海水が重くなり、深海に沈み込みます。

このとき、酸素を多く含んで、深海に酸素を届けるのだそうですが、この現象は深層循環と呼ばれています。この深層循環は大洋では1,000年に1回起きているのですが、日本海では100年に1回起きており、ミニ大洋と呼ばれています。気象庁は「世界全体の海水温はこの100年で0.6℃上昇しているが、日本近海の海水温は世界平均の倍以上となる

1.24℃上昇している。」と発表しています。太平洋では通常海水温度が高いのは赤道付近で、西の方が高く東の方が低いのですが、東の南米のペルー沖の海水温度が下がらないとエルニーニョ現象が発生します。海水温度が下がらないと日本では降雨量が増え、各地で災害が発生します。海水温度が1℃上がると湿度が7%上がると言われていますし、海水中のCO₂も放出されて悪循環は止まりません。現在のペースでは今世紀末には4℃上昇する!!と世界中の気象調査機関が警告を発しているにも関わらず世界中の気温は上昇するばかりです。地球温暖化防止には私たち一人ひとりの意識改革が必要ですが、「暑い時期、寒い時期に冷房や暖房を控え、我慢をしましょう!」と呼びかけられているわけではありません。先ず生活の中で無駄をなくすことから始めましょう。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆